

COMMUNITY COLLEGE FOR WOMEN スタートアップ招待講演

2026年1月10日(土)

オンライン 19~20時半

事前申込制・参加費無料

動く、繋がる、新たな創造へ
:生きるためのフェミニズムを求めて



招待講演 船橋 邦子 (フェミニスト)

1944年、兵庫県生まれ。お茶の水女子大学卒業。佐賀県立女性センター・県立生涯学習センター初代館長、大阪女子大学女性学研究センター教授、和光大学教授を歴任。

現在、北京JAC(世界女性会議ロビイングネットワーク)代表、NPO法人女性と子どものスペース代表理事、NPO法人アジア女性資料センター理事なども務める。

最新刊に『性差別大国・日本:私のフェミニズムの旅から』(三一書房)。他、フェミニズムに関する著書多数。

座長: 金谷 千慧子 (NPO法人女性と仕事研究所 相談役)

中央大学研究開発機構教授、男女共同参画センター・ディレクターの他、各種審議会委員などを歴任。女性と仕事に関する著書多数。

主催

大阪市立大学共生社会研究会

<https://coexisting1.wixsite.com/academy>

大阪公立大学 人権問題研究センター内 (大阪市住吉区杉本3-3-138)

お問い合わせ

大阪市立大学共生社会研究会 担当: 金谷 / (古山)

coexisting.academy@gmail.com



大阪市立大学共生社会研究会

共生社会の創造とNPO

お申込み

2026年1月7日(水)までに、下記のQRコードからお申込みください。



<https://forms.gle/Pqmo3PfXEioryVuh6>

船橋さんの最新刊

フェミニズムが問われる現代。女性の視点から近代と向き合い、生きた著者による、フェミニズムの羅針盤。



性差別大国・日本
私のフェミニズムの旅から
船橋邦子

三一書房

<https://31shobo.com/2025/09/25003/>

共生社会研究

共生社会とは、多様な背景をもつ人々が尊厳をもって生きることができる公正な社会。それを目指すには、構造的に存在する不平等の可視化や抑圧と搾取に立ち向うトランスナショナルな社会的連帯のための理論の構築が欠かせません。こうした社会を変革する力を創りだしていくこと——私たちは、このようなものとして「共生社会研究」を捉えています。